

2024
令和6年7月17日
第22号
(通算127号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!

2026年 県立短大は
「大学校」に変わります。



1 願い叶い嬉しい内定!



内定報告が続いています。株式会社東日本技術研究所に内定を頂いた4人の学生を紹介します。

株式会社東日本技術研究所
佐藤 豪さん (石岡一高卒)、吉田海冬さん (茨城東高卒)
赤津拓実さん (水城高卒)、小針向葵さん (日立商高卒)

Q1 内定の勝因は何ですか?

- A1 赤津さん「記事トレで、要約や感想を練習した成果」
- 小針さん「企業や自己の分析を入念に行ったこと」
- 佐藤さん「適度な緊張と、これまでの先生方のサポート」
- 吉田さん「気合と気持ち」

Q2 IT短大での学びは、どう役立ちましたか?

- A2 赤津さん「グループ討議もあり、面接でしっかり話せた」
- 小針さん「基本情報技術者試験に合格し強みにできた」
- 佐藤さん「朝のスピーチにより相手と落ち着いて話せる」
- 吉田さん「面接時、短大での学びを沢山話せた」

Q3 これからのIT活用の抱負は?

- A3 赤津さん「信頼されるよう頑張りたい」
- 小針さん「ITの学びを深め応用情報技術者試験に合格する」
- 佐藤さん「社会に役立つ人材になる」
- 吉田さん「世界に羽ばたきたい」



3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事> 読売新聞(2024年7月10日)

文章の基本 新聞に

～教科横断 広がる探求心～

●宮崎希輝さん (佐和高卒)

◇要約: 新聞には文章の基本があり、日々触れることによって情報を正しく読み取り、自分の考えを的確に発信できるようになる。

大きな観点から物事を捉える力を身に付けるためには、教科書に新聞を上手く組み合わせることが大切で探求心も培われる。

感想: 新聞に日々触れることには大きな意義がある。新聞を読むことで、自然にコミュニケーション能力や語彙力が発達していく。IT業界でもこれらの力は必要不可欠である。IT技術者を目指す私たちにとっても重要であると感じ取ることができた。

●田畑 潤さん (鹿島高卒)

◇感想: 日本で生きていく上で、国語力は大切だと思う。自分も国語は得意ではないが、コミュニケーションをとる上でも、仕事をする上でも必要となってくると思う。学べるうちにしっかり学びたいと思った。



●野村未結さん (水戸二高卒)

◇感想: 最近は、インターネットやSNSを使うことで、感じたことを言葉にできず、相手の気持ちを想像できないので「いじめ」などの問題が起きる。新聞を読むことで、基本の文章構成も身に付き、読解力が高まる。短期間ではなく長期間続けることで学習力が付くと思う。

●増山直樹さん (明秀日立高卒)

◇感想: 新聞を読むことで社会で求められるコミュニケーション力や読み解く力が身に付くことが分かった。

SNSやテレビ等からだけでなく、活字からの情報を意識的に取り入れられるように頑張りたい。



2 クラスマッチはバレーボール!



7月25日(木)に、後援会の学生代表者会議が開催され、クラスマッチの種目がバレーボールに決まりました。競技の詳細はこれから協議するとのことでした。

- 1 種目: バレーボール
- 2 会場: リリーアリーナMITO



ITから
創造した
未来へ